

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	特別研究Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	93203			科目区分	専門 / 必修	
授業形態	研究			単位の種別と単位数	学修単位: 8	
開設学科	電子機械工学専攻E			対象学年	専2	
開設期	通年			週時間数	前期:8 後期:8	
教科書/教材	特に指定しない					
担当教員	塚本 武彦,大野 亙,犬塚 勝美,及川 大,熊谷 勇喜,杉浦 藤虎,光本 真一,吉岡 貴芳					
到達目標						
(ア)倫理観を踏まえた上で、研究の背景と目的を理解し、研究に必要な情報・知識を収集・習得できる。 (e) (イ)基礎的な知識・技術を基に実験や調査などの研究計画を立案できる。 (e) (ウ)実験や調査をして、信頼性の高いデータを収集できる。 (h) (エ)創造性を発揮して課題を探究し、問題点を自ら解決することができる。 (e) (オ)研究結果を工学的手法によって解析し、考察することができる。 (h) (カ)プレゼンテーション資料を作成し、口頭で研究内容をわかりやすく説明でき、また他の学生の研究内容を理解し討論できる。 (f) (キ)研究の背景、目的、方法、結果、考察などをまとめた修了論文を作成できる。 (f)						
ルーブリック						
		理想的なの到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)		倫理観を踏まえた上で、研究の背景と目的を理解し、研究に必要な情報・知識を収集・習得できる。	研究の背景と目的を理解し、研究に必要な情報・知識を収集・習得できる。		研究の背景と目的を理解し、研究に必要な情報・知識を収集・習得できない。	
評価項目(イ)		基礎的・応用的な知識・技術を基に実験や調査などの研究方法を設計し、研究計画を立案できる。	基礎的な知識・技術を基に実験や調査などの研究方法を設計し、研究計画を立案できる。		基礎的な知識・技術を基に実験や調査などの研究方法を設計し、研究計画を立案できない。	
評価項目(ウ)		実験や調査をして、信頼性の高いデータを素早く収集できる。	実験や調査をして、信頼性の高いデータを収集できる。		実験や調査をして、信頼性の高いデータを収集できない。	
評価項目(エ)		創造性を発揮して課題を探究して問題点を自ら解決することができる。	問題点を自ら解決することができる。		問題点を自ら解決することができない。	
評価項目(オ)		結果を工学的手法によって詳細に解析して考察することができる。	結果を工学的手法によって解析して考察することができる。		結果を工学的手法によって解析して考察することができない。	
評価項目(カ)		視聴覚ツールなどを用いてプレゼンテーション資料を作成し、口頭で分かりやすく説明することができる。	視聴覚ツールなどを用いてプレゼンテーション資料を作成し、口頭で説明することができる。		視聴覚ツールなどを用いてプレゼンテーション資料を作成し、口頭で説明することができない。	
評価項目(キ)		研究の背景、目的、方法、結果、考察などを適切な表現を用いて順序立ててまとめた修了論文を作成できる。	研究の背景、目的、方法、結果、考察などをまとめた修了論文を作成できる。		研究の背景、目的、方法、結果、考察などをまとめた修了論文を作成できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 C1 研究の背景を自ら調査・整理し、よく理解している。 学習・教育到達度目標 C2 技術的な問題点や社会における課題を明確にした上で、研究目的を設定し、研究方法を設計できる。 学習・教育到達度目標 C3 チーム・個人の専門的知識や技術レベルを考慮したうえで研究日程を立案・実行し、必要に応じて修正することにより、計画的、継続的に研究できる。 学習・教育到達度目標 C4 工学的手法によりデータを解析し、考察できる。 学習・教育到達度目標 C5 チーム・個人で挙げた複数の解決案を比較検討する等により、解決策を選択できる。 学習・教育到達度目標 D1 実験・研究内容を整った章立てに従い、分りやすい日本語で記述できる。 学習・教育到達度目標 D2 実験・研究内容を聴衆に合わせて分かりやすい日本語で発表できる。 学習・教育到達度目標 D3 他者の実験・研究・提案内容を理解し、的確に質問できる。 JABEE e 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力 JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 JABEE h 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力 本校教育目標 ① ものづくり能力 本校教育目標 ③ 問題解決能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力						
教育方法等						
概要	各学生が各教員の指導のもとに独自の特別研究課題を遂行するとともに、特定分野について深く専門の内容を掘り下げ理解を深める。また、倫理観を持ち、創造的で計画的かつ継続的に研究を進める姿勢を身につける。さらに、研究課題に基づき、研究の背景、目的、方法、結果、考察などをまとめた修了論文を作成するとともに、口頭で研究内容を発表する。					
授業の進め方・方法						
注意点	単位時間の配分は平均的な目安であり、研究指導教員によって差異がある。なお、本科目は特例認定専攻科における学修総まとめ科目である。					
選択必修の種別・旧カリ科目名						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	特別研究Ⅰに引き続き、先行研究を踏まえた研究内容の理解		先行研究を踏まえた研究内容を理解する	
		2週	各研究課題に必要な情報の収集および知識の習得：専門書、論文誌、インターネット検索などの利用		研究に必要な情報・知識を各種の媒体を利用して収集・習得できる	
		3週	各研究課題に必要な情報の収集および知識の習得：専門書、論文誌、インターネット検索などの利用		研究に必要な情報・知識を各種の媒体を利用して収集・習得できる	

		4週	各研究課題に必要な情報の収集および知識の習得：専門書、論文誌、インターネット検索などの利用	研究に必要な情報・知識を各種の媒体を利用して収集・習得できる
		5週	実験、調査・データ収集、プログラムの作成等：信頼性のある実験データ収集法の習得	実験や調査をして、信頼性の高いデータを収集できる
		6週	実験、調査・データ収集、プログラムの作成等：信頼性のある実験データ収集法の習得	実験や調査をして、信頼性の高いデータを収集できる
		7週	実験、調査・データ収集、プログラムの作成等：信頼性のある実験データ収集法の習得	実験や調査をして、信頼性の高いデータを収集できる
		8週	実験、調査・データ収集、プログラムの作成等：信頼性のある実験データ収集法の習得	実験や調査をして、信頼性の高いデータを収集できる
		9週	実験、調査・データ収集、プログラムの作成等：信頼性のある実験データ収集法の習得	実験や調査をして、信頼性の高いデータを収集できる
		10週	実験、調査・データ収集、プログラムの作成等：信頼性のある実験データ収集法の習得	実験や調査をして、信頼性の高いデータを収集できる
		11週	研究結果の解析・考察：実験で得られた結果の科学的分析や数理手法を用いた解析	研究結果を工学的手法によって解析し、考察できる
	2ndQ	12週	研究結果の解析・考察：実験で得られた結果の科学的分析や数理手法を用いた解析	研究結果を工学的手法によって解析し、考察できる
		13週	研究結果の解析・考察：実験で得られた結果の科学的分析や数理手法を用いた解析	研究結果を工学的手法によって解析し、考察できる
		14週	研究結果の解析・考察：実験で得られた結果の科学的分析や数理手法を用いた解析	研究結果を工学的手法によって解析し、考察できる
		15週	研究結果の解析・考察：実験で得られた結果の科学的分析や数理手法を用いた解析	研究結果を工学的手法によって解析し、考察できる
		16週		
		1週	研究結果の解析・考察：実験で得られた結果の科学的分析や数理手法を用いた解析	研究結果を工学的手法によって解析し、考察できる
		2週	研究発表用資料の作成：研究発表会用のプレゼンテーション資料（パワーポイント、ポスター等）の作成	視聴覚ツールなどを用いて他人にわかりやすいプレゼンテーション資料を作成する
後期	3rdQ	3週	研究発表用資料の作成：研究発表会用のプレゼンテーション資料（パワーポイント、ポスター等）の作成	視聴覚ツールなどを用いて他人にわかりやすいプレゼンテーション資料を作成する
		4週	研究発表用資料の作成：研究発表会用のプレゼンテーション資料（パワーポイント、ポスター等）の作成	視聴覚ツールなどを用いて他人にわかりやすいプレゼンテーション資料を作成する
		5週	研究発表用資料の作成：研究発表会用のプレゼンテーション資料（パワーポイント、ポスター等）の作成	視聴覚ツールなどを用いて他人にわかりやすいプレゼンテーション資料を作成する
		6週	研究成果の発表：研究内容の端的かつ明瞭な発表手法の習得	視聴覚教材等を用いてわかりやすく口頭で発表できる
		7週	研究成果の発表：研究内容の端的かつ明瞭な発表手法の習得	視聴覚教材等を用いてわかりやすく口頭で発表できる
		8週	研究成果の発表：研究内容の端的かつ明瞭な発表手法の習得	視聴覚教材等を用いてわかりやすく口頭で発表できる
	4thQ	9週	研究成果の発表：研究内容の端的かつ明瞭な発表手法の習得	視聴覚教材等を用いてわかりやすく口頭で発表できる
		10週	修了論文の作成：研究背景、目的、方法、結果、考察等のまとめ	研究の背景、目的、方法、結果、考察などを適切な表現を用いて順序立ててまとめた修了論文を作成できる。
		11週	修了論文の作成：研究背景、目的、方法、結果、考察等のまとめ	研究の背景、目的、方法、結果、考察などを適切な表現を用いて順序立ててまとめた修了論文を作成できる。
		12週	修了論文の作成：研究背景、目的、方法、結果、考察等のまとめ	研究の背景、目的、方法、結果、考察などを適切な表現を用いて順序立ててまとめた修了論文を作成できる。
		13週	修了論文の作成：研究背景、目的、方法、結果、考察等のまとめ	研究の背景、目的、方法、結果、考察などを適切な表現を用いて順序立ててまとめた修了論文を作成できる。
		14週	修了論文の作成：研究背景、目的、方法、結果、考察等のまとめ	研究の背景、目的、方法、結果、考察などを適切な表現を用いて順序立ててまとめた修了論文を作成できる。
		15週	修了論文の作成：研究背景、目的、方法、結果、考察等のまとめ	研究の背景、目的、方法、結果、考察などを適切な表現を用いて順序立ててまとめた修了論文を作成できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		修了論文	研究発表	合計	
総合評価割合		60	40	100	
専門的能力		60	40	100	